



未来の子どもたちにとって望ましい学校の姿を考える。



小諸市長期学校改築計画検討会
座長 渡辺 史郎 氏

提言にあたり

このたび、市の長期学校改築計画についてのたたき台を検討するよう、委員18名が教育長より委嘱を受け、13カ月間にわたって検討して参りました。様々な考慮すべき要素がある中で、一同が基本的に一致した議論の出发点は「未来の子どもたちにとって望ましい学校の姿はどうあるべきか」という観点でした。9月には中間報告会を開き、直接あるいはアンケートにより意見を寄せていただき、さらに検討を加え、提言の中味を充実させることができたと思っています。

これからの子どもたちのために、この提言を基本に据えた検討が進み、計画が具体化されますよう期待しています。

提言を受けて

この提言は、全くの白紙から小諸市の教育を30年、50年先まで見越してどういう姿にしていくなか、様々な議論をしていただいた中の結論でありますので、しっかりと受け止めさせていただきます。今後は、提言書の内容を広く市民の皆様方にご理解いただきたいと考えています。今後、具体的話になると、財政の問題、地域の思い、歴史、様々なものが出てくると思いますが、この提言書の段階では、基本の、小諸市の教育が目指すべき方向を示していただきました。これを大事な基本設計と考え、多くの市民の皆様にご説明し、ご理解いただきましたと思っています。



教育長 小林 秀夫

望

ましい小学校の規模を実現するためには、最低でも1学級20人以上で、学年で2学級以上の編成が必要とされています。

これを踏まえ、市内各小学校の今後6年間の児童数を推計したものが下表です。着色箇所が望ましい小学校の規模を達成できない可能性が高い部分です。検討会からの提言は、この児童数の推計から見て、学校の再編により学校規模の適正化を図る必要があるとの判断に基づいています。

	2018		2019		2020		2021		2022		2023	
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数
東小	65	2	63	2	76	3	78	3	66	2	59	2
坂の上小	61	2	45	2	41	2	30	1	43	2	41	2
野岸小	40	2	47	2	41	2	56	2	39	2	44	2
水明小	58	2	56	2	42	2	43	2	35	1	43	2
千曲小	13	1	14	1	26	1	11	1	17	1	11	1
美南ガ丘小	93	3	106	4	112	4	90	3	96	3	83	3
合計	330	12	331	13	338	14	308	12	296	11	281	12

全

体の児童数が減少する中で再編を進めるためには、複数校の統合の検討を避けることはできません。

この再編・統合を検討するうえでは、新たな学校の仕組みとして「小中一貫教育制度のあり方についても検討する」ととされています。小中一貫教育とは、小・中学校の教員が目指す子ども像を共有するとともに、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指すものです。近年、全国各地で、様々な方式による小中一貫教育が取り組まれています。